

# ふるさとの心

その5 阿蘇草千里



草千里は烏帽子岳の中腹にあり、直径一\*の広くて浅い皿形の草原。ほぼ中央に水たまりがあり、牛や馬が放牧されている。夏場は草スキー、冬もスキーが楽しめる。熊本市方面からは絶好の日帰り行楽地となっている。

八月九日、十日の二日間、皇太子殿下・妃殿下をお迎えして、この草千里を中心に第十五回自然公園大会が開かれる。



ふるさとの通信

## 日奈久の思い出

荒木将利

梅雨の頃であった。中学校の校庭が水につかり、膝までズボンをまくりあげて登校したことがあった。ふとしたはずみで弁当を泥水の中に落した。急いで拾いあげ、中を見るとなんともない。食いものの恨みはなんとやらというがああ時の弁当が食べられなかったら日奈久の思い出が全々違ったものになったかも……。

中学時代は毎日絵を描いた。先生が非常に熱心で、我々はみだし者を集めて教えてくれた。それこそ三年間ほとんど毎日のごとく日奈久中をくまなく歩きまわり描きまくった。よく食べ、よく遊び、よく温泉につかった。まかせていたのか、親友と哲学めいた話をした。今でも理屈っぽいのはそのせいかもしれない。

会社勤めの現在、年中とはいかぬが、和歌山を中心に、京都、奈良、大阪、神戸と歩きまわり、描きまくっている。空気のきれいな日奈久と違い、スモッグの下で三十代の肥り気味の体を重たげに。

私の一生の土台を作ってくれたのは日奈久である。あの頃の、のびのびとした生活をぜひ子供にも送らせたいと思うが、かなわぬ夢。せめて日奈久での経験を生かし、精神的な豊かさだけは子どもに植えつけなければと思う。

日奈久中学卒  
住友金属工業(株)和歌山製鉄所勤務